

江角記念講堂のパイプオルガン

ステージ中央に設置されているパイプオルガンは、カナダのカサバン・フレール社によって製作され、1989年3月に奉献されました。

高さ8.6m、幅7.7m、2つの手鍵盤と足鍵盤、31のストップ、2030本のパイプを持つ、パイプオルガンとしては中規模の楽器です。2030本のパイプはすべて長さや太さが違い、短いものは2cmほど、最も長いものは5mもあり、鳥のさえずりのような高い音から、地響きのような重低音まで、色彩豊かな音を響かせます。

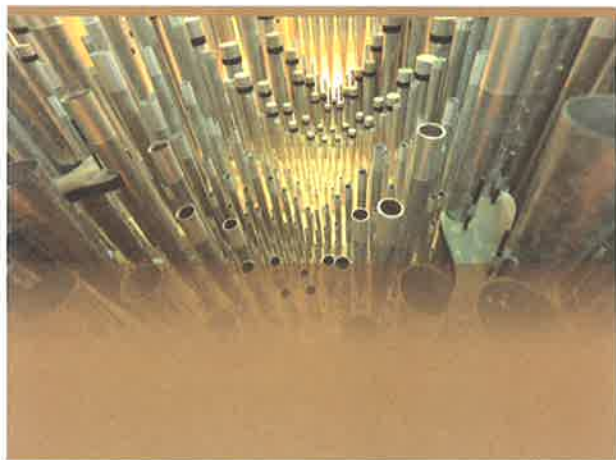
この楽器の基本設計に携わった酒井多賀志客員教授によれば、次の3つの要素を併せ持つオルガンを目指したとのことでした。

- セザール・フランク以降のフランス近現代の作品に適している楽器であること
- バッハも演奏できる楽器であること
- 酒井のオリジナル作品の可能性も追求できる楽器であること

完成したオルガンは、柔らかみがある豊かな響きで、すべての笛(パイプ)がよく溶け合って心地よく響きます。安定した響きの中に明確さと軽さを持っていることもこの楽器の特性でしょう。

本学においては、日々の授業、入学式、卒業式、創立記念行事、ミサ、聖母祭、クリスマスコンサート、地域の方々に向けた公開講座等で、このオルガンは美しく力強い調べを響かせてきました。

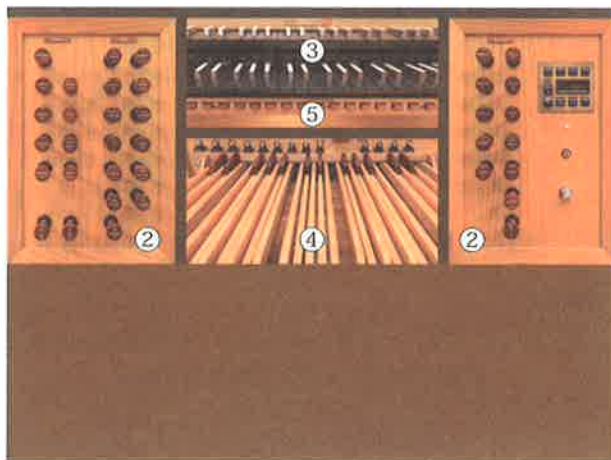
本学の教育理念“Sapientia In Caritate Fundata”すなわち「愛に根ざした真の知恵」を具現化した音として、その響きの輪が、ここ滝山の地から地域社会へ、さらに世界へと広がっていきますようにと願っております。



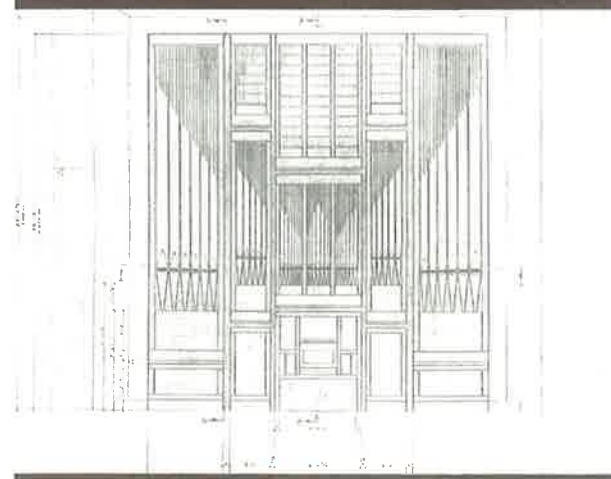
演奏台



- ① 譜面台
- ② ストップ：音色を変えるノブ(引っ張ると音が出る)
- ③ 手鍵盤：Grand Orgue(下の鍵盤)
Récit(上の鍵盤)
- ④ 足鍵盤：おもに低音域の音を奏でる
- ⑤ コンビネーションボタン：
あらかじめ記憶させておいた音の組み合わせを一瞬で呼び出すことができる



オルガンの設計図



オルガンの歴史

紀元前3世紀頃にエジプトで発明された水圧オルガン「ヒュドラウリス」がオルガンの原型と考えられています。時代の流れとともに「ふいご」(送風装置)を用いて風圧で音を出すものが考案されました。古代ローマの円形闘技場で闘技の伴奏楽器として使われていたオルガンが、キリスト教の典礼に用いられるようになった経緯は不明ですが、およそ8世紀頃と推定されています。オルガンは製作された地域や時代によって姿かたち、音色が異なります。特にドイツ、フランス、イタリア、スペインでは、それぞれ特色のある楽器が生まれ、その楽器から音楽が生み出され、独自のオルガン文化が形成されていきました。

日本には1579年にイエズス会宣教師ヴァリニャーノが来日した際、オルガンが持ち込まれましたが、禁教令の発令と鎖国により、その歴史は一度途絶えます。鎖国が解かれ、再びオルガンが設置されたのは1920年のことです。そして1970年代以降は各地の教会や公共施設、コンサートホールに次々と設置され、今日に至ります。今後は如何に日本独自のオルガン文化を育み、未来に向けて成熟させていくかが問われることになるでしょう。



オルガン仕様

第1鍵盤 Grand-Orgue C-a'''

Bourdon 16'

Montre 8'

Bourdon 8'

Prestant 4'

Flute conique 4'

Doublette 2'

Larigot 1 1/3'

Fourniture V

Doucaine 16'

Trompette 8'

第2鍵盤 Récit(expressif)C-a'''

Flute a cheminee 8'

Viol de gambe 8'

Voix celeste (TC) 8'

Principal 4'

Flute a fuseau 4'

Nazard 2 2/3'

Quarte de nazard 2'

Tierce 1 3/5'

Plein jeu IV

Trompette harmonique 8'

Hautbois 8'

Voix humaine 8'

Tremblant

足鍵盤 Pedal C-f'

Montre 16'

Soubasse 16'

Octavebasse 8'

Bourdon 8'

Octave 4'

Mixture IV

Bombarde 16'

Trompette 8'

Chalumeau 4'

Mechanical key action

Electric stop action

256 combinations

カプラー：I-P, II-P II-L,

平行ペダル

ストップ実働：31個

パイプ総数：2030本

(Grand Orgue:812本

Récit:858本 Pedal:360本)

設計：酒井多賀志

製作・組立・整音：

カサヴァン・フレール社

(カナダ)

設置年：1989年3月

ACCESS MAP

※駐車場に限りがございます。公共交通機関をご利用ください。



各駅より「西東京バス」にて
「純心女子学園」下車

- ③ JR八王子駅より15～25分
- ④ 京王八王子駅より17～27分
- ⑤ JR拝島駅より約23分
- ⑥ JR秋川駅より約29分
- ⑦ JR福生駅より21～26分

※時間帯、経路により所要時間が異なります。



JR八王子駅バスターミナル

11 12 番「純心女子学園」行「戸吹」行 ほか



京王八王子駅バスターミナル

4 番「純心女子学園」行「戸吹」行 ほか



JR秋川駅バスターミナル

2 番「JR・京王八王子駅」行



JR拝島駅バスターミナル

3 番「純心女子学園」行「工学院大学」行 ほか



JR福生駅バスターミナル

2 番「純心女子学園」行

東京純心大学 (共学)
Tokyo Junshin University

看護学部 ● 看護学科 現代文化学部 ● こども文化学科

お問い合わせ

〒192-0011 東京都八王子市滝山町2-600
TEL.042-692-0326 FAX 042-692-5551

www.t-junshin.ac.jp/univ/

併設：東京純心女子中学・高等学校

Les grandes orgues de Tokyo Junshin



Sapientia In Caritate Fundata